

所 属	教育委員会 教育財務課		
担当(係)名	施 設 担 当	内線	3560

高等学校校舎の耐震化

1 事業費	【財源内訳】	【主な用途】
1,264,582	県 債 1,137,600	工事請負費 1,237,255
(前年度 2,764,993)	一般財源 126,982	事 務 費 27,327

2 背景・現状

老朽化した校舎の改築や耐震補強を実施し、生徒にとって安心して学習できる施設環境を整備する必要がある。

3 事業目的

平成19年度の「県有建築物耐震検討委員会」において見直された判定基準に基づき、県立高等学校の耐震化を順次実施する。

4 事業概要

老朽化した1校1棟について改築工事を行うほか、耐震性が低い7校8棟について耐震補強工事を実施する。

主 な 事 業	対 象 学 校 名 な ど
老朽校舎の改築	〔継続〕 恵那
耐震補強（7校8棟）	〔継続〕 華陽フロンティア、岐阜農林、羽島北、大垣西、大垣商業、大垣工業、飛驒神岡

○県立学校耐震化率（校舎・体育館・寄宿舎）

H21年度末 93.9%、H22年度末 97.9%、H23年度末 100%

(款) 10 教育費 (項) 4 高等学校費 (目) (4) 学校建設費
(明細書事業名) ○単独事業
高等学校建設事業費